

# 幕張東小 デジタルシチズンシップ教育 「情報モラル・情報セキュリティの目標」

「メディアバランスとウェルビーイング」という考え方があります。これは、心身ともに健康で幸せな生活を送るため、メディアの利用と、睡眠や食事、趣味や学習、家族との時間をバランスよく両立しようとする考え方です。メディアの利用は、現代の生活に欠かすことができません。「学校だけ」「家庭だけ」ではなく、正しく有効的に使用していける市民を育成するため(デジタルシチズンシップ教育)、社会全体が考えていく必要があります。そこで、本校では、総務省や文部科学省の示す目標をもとに、学校と家庭での取組の目標を作成しました。お子さんのわかりやすい言葉に置き換えながら、ご家庭でも活用ください。

		低学年(1・2年生)	中学年(3・4年生)	高学年(5・6年生)
情報モラル	自他の情報の大切	<p>○友達が作った画像や文章を許可なく消したり、変えたりしない。</p> 	<p>○インターネット上にある静止画や動画、音楽には、著作権があることを知り、自分のものとして許可なく使ってはいけないことを知る。</p> 	<p>○意見交換や資料作りを協同で行うときは、無断で編集したり、誤って消したりしないように気を付けて扱う。</p> 
	情報発信の際のマナー	<p>○Classroom のストリームを使うときは、相手の気持ちを想像して、思いやりをもって発信する大切さを知る。送信する前に、相手はどう思うか、どう感じるか、ということを考える。</p> 	<p>○チャット機能のあるアプリを使うときは、友達を目の前にした時と同じように、思いやりをもってコメントする。</p> <p>○インターネット上の情報が正しいとは限らないことを知る。あやしい内容を見つけたら大人に知らせる。</p>	<p>○グループ内チャットや、Classroom のストリームに入力するときは、様々な人に閲覧されることを理解し、言葉遣いや情報の正しさに気を付けるとともに、友達を目の前にしたときと同じように思いやりをもってコメントする。</p> 
情報セキュリティ	情報の管理・ルール	<p>○自分のログイン ID やパスワード等個人情報を他人に教えないことや、教えてはいけない理由を知る。</p> 	<p>○自分の発信する画像や動画、文章が、インターネットを通じて、ウイルスやなりすましにより流出する危険が常にあることを理解する。</p> 	<p>○自分の発信する画像や動画、文章が、ウイルスやなりすまし等に悪用され、危険を及ぼすおそれがあることを理解し、文章や画像の内容から個人情報が知られてしまうおそれがあることを知る。</p> 
	情報を守るため	<p>○サイトでは、むやみに自分や他人の名前や住所、画像等を入力・送信しないことを知る。</p> <p>○調べた情報の中には、危険なサイトや情報が紛れていることを知る。</p>	<p>○危険なサイトやメールがあることを理解し、むやみにリンクを開かないことや、受信拒否の設定ができることを知る。</p> <p>○自分のアドレスを他人に教えることは、危険が伴うことを知る。</p> 	<p>○情報を扱う中で、肖像権侵害(顔や姿を許可なく投稿する)や、人格権侵害(悪口や決めつけを投稿する)になる場合があることを知り、気を付ける。</p> <p>○安全なパスワードの作成の仕方を知り、適切に管理する。</p>
家庭	管理・ルール決めの例	<p>○「遊び」か「学び」の判断がつかない発達段階のため、スマートフォン・タブレット端末・ゲーム機等でインターネットを使用させる際、使用時間や範囲を制限し、ルールを決める。</p> <p>○フィルタリングサービスを利用する。</p> 	<p>○友達やオンラインゲーム内の他人とのやり取りをしている様子をお子さんと共有し、安心してメディアを利用できる環境をつくる。</p> <p>○フィルタリングサービスを利用する。</p> 	<p>○使っているアプリやサイトの安全性を確認し、使用状況の把握に努め、必要に応じて、肖像権や人格権、課金等、メディアの使用の仕方について確認し、正しく使えているかの振り返りを定期的に行う。</p> <p>○フィルタリングサービスを利用する。</p> 

